

九州・沖縄のランドスケープ遺産

(社) 日本造園学会 九州支部

「造園遺産」の第一次選考へのご協力依頼

支部長：北川 博良

担当幹事：徳永 哲

1. はじめに

日本造園学会九州支部では、本年度より「九州・沖縄のランドスケープ遺産」の再発見に努め、地域性と風土の中で培われた文化遺産の継承への貢献を考えております。

その第一段の試みとして、「造園遺産」として定義するもの（造園技術によって形成された優れたランドスケープ空間）に的を絞り、九州沖縄各地の事例を広く収集した上で、選考作業を行っていくこととなりました。

この事例収集及び選考の経過と結果は、来年 5 月の鹿児島大会において報告を行い、その後さらに「ランドスケープ遺産」としての選考やとりまとめの方向、社会へのアピールのあり方などについて具体化していきたく考えております。

学会員の皆様をはじめ、ご関係の専門家や行政などの皆様方には、本取り組みの趣旨をご理解の上、是非ご協力お願い致します。

2. 事例推薦応募の要領

「造園遺産」の事例として推薦応募は、別紙の「造園遺産」第一次選考応募用紙をお使い下さい。1 事例につき 1 頁とし、数に応じて用紙を増やして下さい。

- 事例物件の名称、所在地（市区町村名まで）を記載して下さい。
- 事例物件の「造園遺産」としてのキーワードを記載して下さい。
- 推薦理由を 100 字～200 字程度で文章記述して下さい。
- 推薦理由を補足するため、以下の評価視点毎に、○印をつけてください。

地域性・固有性	風土との関連、その地域ならではの工夫が取り入れられている特徴
意匠性・デザイン性	空間構成や構成要素全般にわたる、形・素材などの特徴
歴史性・文化関連性	地域の歴史文化や地場産業と深く結びついている特徴
環境・快適性	地域における微気象対策や生物多様性などへの配慮がなされている特徴
愛着・活用・将来性	地域住民に親しまれ、将来に向けて活用が期待されている特徴

推薦時における評価の捉え方は、次の通りです。

高…その視点に関連する特徴が、ランドスケープ遺産としての価値を顕著に高めている。

中…その視点に関連する特徴が認められる。

低…その視点に関連する特徴は認められない。

- 事例物件の写真を記載して下さい。
できるだけ、キーワードや推薦理由と結びついたカットを添付して下さい。
- ※ 推薦理由について事務局から確認させて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。
応募用紙は、(社) 日本造園学会 九州支部ホームページからもダウンロードできます。

3. 提出先

九州・沖縄ランドスケープ遺産選定事業事務局（担当幹事 徳永哲）

住所：〒815-8540

福岡県福岡市南区塩原 4-9-1 九州大学芸術工学研究院環境計画部門内（朝廣研究室）

Tel：090-8417-0124（徳永） Fax：092-523-3662 E-mail：qzouen@design.kyushu-u.ac.jp

4. 提出期限

平成 22 年 12 月 20 日（月）まで

※年末のお忙しい時期とは存じますが、来春の鹿児島大会への準備の都合をご理解いただき、何卒よろしくお願い致します。